



# エンディングノートを書いてみよう

エンディングノートを作成するためのポイントを専門家が  
わかりやすくお話ししながら、将来の不安を取り除くお手伝いをします。  
ご家族やお友達と参加してみませんか？

2023 10/20 (金) 10:00~12:00

講師：平塚市地域包括センター サンレジデンス湘南  
江成 聡美氏（保健師） 田中 愛氏（社会福祉士）

持物：筆記用具 会場：神田公民館 1階 集会室 定員：50名（先着順）

申込：2023年9月15日（金）9時から受付開始

神田公民館窓口または電話にて受付いたします。

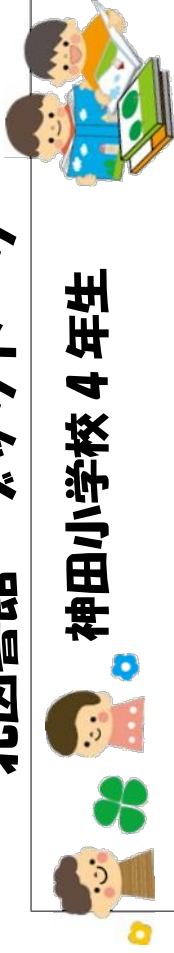
※定員に達し次第、お申し込みを終了とさせていただきます。

※お預かりした個人情報は、利用目的以外には使用いたしません。

共催：平塚市北図書館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）・神田公民館

問合せ先：平塚市神田公民館 〒254-0013 平塚市田村 3-12-5 TEL0463-55-0239

参加  
無料



神田小学校 4年生

## テーマ：「ともだちっていいな」

令和5年11月16日（木）

- 1 「世界のあいさつ」 長 新太／さく 福音館書店
- 2 「たかこ」 清水 真裕／文 青山 友美／絵 童心社
- 3 「けんかをした日に読む本」 現代児童文学研究会／編 偕成社
- 4 「世界のじゃんけん大集合」 田中 ひろし／著 今人舎
- 5 「ルドルフとイッパイアッテナ」 斎藤 洋／著 講談社
- 6 「ベッシーによるしく」 花形 みつる／作 山西 ゲンイチ／絵 学習研究社
- 7 「ストライプ」 デヴィッド・シャノン／文と絵 セーラー出版
- 8 「ゴリオとヒメちゃん」 アンソニー・ブラウン／さく 久山 太市／やく 評論社

担当：牧野・高津

### 📖 「友だち」のテーマでこんな本もおすすめ

- 「おともだちにナリマ小」 たかどの ほこう／作 にしむら あつこ／絵
- 「ボレボレ」 西村 まり子／作 はやし まり／絵
- 「金曜日がおわらない」 アニー・ドルトン／作 岡本 浜江／訳
- 「ふしぎな木の実は料理法」 岡田淳／作
- 「バレエなんてきらい」 ジェニア・リチャード・ジェイコブソン／作 武富 博子／訳
- 「あいてのきもちを考えて話そう ちくちくことばはわらわことば 1〜3」 鈴木教夫／監修 秋山 浩子／文 のはら あこ／イラスト

### 北図書館のお知らせ

#### 『ミニ・ビブリオバトル』にチャレンジしませんか？

- **開催日** 令和6年1月27日（土）午後2時～午後3時30分
- **場所** 神田公民館 1階 会議室
- **定員** 先着4名
- **対象** 小学4・5・6年生と中学生
- **持ち物** 紹介したい本、筆記用具、飲み物
- **申込み** 令和5年12月16日（土）午前9時～北図書館カウンターか電話（0463-53-1232）で受付します。

自分の好きな本、  
3分で紹介  
してみよう☆





平塚市西図書館 16mm フィルムを使った映画会をします。

# 冬の映画会

参加費無料

上映作品

「ミッキーマウスのメリークリスマス」

(開場は15分前)

日時 2023年12月23日(土) 午前10時30分~11時10分

会場 平塚市西図書館1階 視聴覚室 定員 30名

対象 小学生以下 (小学生未満の方は保護者同伴が必要)

申込 事前申込先着順 12月2日(土) 午前9時00分から受付開始



# 平塚め 今昔

遺跡  
からみる

2023 11/19 (日) 10:00~11:30 (開場15分前)

旭地区をはじめとした平塚の歴史について、遺跡を中心に解説します。

講師：新宮 崇弘 (しんみやたかひろ) 氏 平塚市博物館 学芸員

場所：平塚市西図書館 1階 視聴覚室

定員：30名 (中学生以上)

申込：2023年11月4日(土) 午前9時から受付開始  
西図書館窓口またはお電話にて受付いたします。(先着順)  
※定員に達し次第、お申し込みを終了とさせていただきます。

参加  
無料



# 南図書館

# ビブリオバトル

日時：令和6年1月21日（日）

午前の部（午前10時～正午）

午後の部（午後1時30分～3時30分）

※午前・午後どちらかを選んでください



定員：午前・午後各回6名先着順

（定員となりましたら、受付を終了します）

場所：なぎさふれあいセンター1階会議室

（南図書館と同じ施設内です）

たいしょう

対象：平塚市に住んでいるまたは、市内の小学校に通っている  
3・4・5・6年生

もうしこみ

申込：令和5年12月16日（土）午前9時～

（電話または、南図書館カウンターにて受付）

持ち物：おすすめの本1さつ（平塚市図書館の本でもよい）  
筆記用具、飲み物

Q. ビブリオバトルってなに？

A. おすすめの本を紹介しあうコミュニケーションゲームです。

Q. どうやってやるの？

A. おすすめの本を1人1さつ紹介したあと、参加者全員が  
1番読みたくなった本に投票し、チャンプ本を決めます。

たのしいよ！



【お問合せ】平塚市南図書館

平塚市袖ヶ浜20-1 なぎさふれあいセンター3階  
電話：0463-21-3080

平塚市南図書館（指定管理者 株式会社ヴィアックス）

初めてでも  
安心!

# タブレット型PC 体験講座

iPadはこちらでご用意致します  
お一人に一台、iPadをご用意し、基本的な  
操作方法や平塚市図書館のホームページの  
利用方法などをわかりやすく説明します。

日時

2024年 **2月3日** (土)

**10:00 ~ 11:30**

開場 | 9:45

場所

南部福社会館 1階会議室

参加無料

定員

10名 (先着順)

対象

平塚市在住・在勤・在学の  
一般 (高校生以上)

申込

1月4日(木) 9:00 より 南部福社会館来館、又は  
お電話 (0463-21-3370) にて受付致します。

※定員に達し次第、お申し込みを終了とさせていただきます。

お問合せ

☎0463-21-3370



## イ その他報告

### (ア) 多様な資料を活用した教材化ワークショップ参加報告

主催：TRC-ADEAC 株式会社

企画・ファシリテーター：大井 将生 国立歴史民俗博物館特任教授

報告者	主管 西海 豊
日時	令和5年12月27日(水) 午後1時30分から4時30分まで
場所	ZOOMを利用したオンライン上での参加
内容要旨	<p>ワークショップの開催目的は、学校の先生と、図書館・博物館・資料館などのスタッフが集まって、様々な資料を学校の授業で、「使える教材」にするための議論の場だった。</p> <p>前半は、大井将生特任教授から、高等学校の教員時代の経験も踏まえて、デジタルアーカイブを活用した学校の教材化の背景に関する講義。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校現場では、新しい学習指導要領に盛り込まれた探求学習をどのよう進めたいか試行錯誤の状態にある。</li> <li>・ 学校側からすると地元の資料は図書館にあると思っている。地元の図書館が、資料を集め、学校でも利用しやすいようにする必要がある。</li> <li>・ 学習指導要領のどこに該当するか全国共通のメタデータを埋め込むと、他のデータベースと横断検索ができるようになる。</li> <li>・ 図書館等の資料提供側の機関は、全国で利用してもらえるチャンスと思ってぜひ取り組んでほしい。授業の指導案も公開できるとなおよい。</li> <li>・ 今後、デジタル副読本が急速に普及するので、カリキュラムなどとデジタルアーカイブを結びつけることを考えなければならない。</li> </ul> <p>後半のワークショップでは、デジタルアーカイブの「資料提供側」である図書館等の機関と、利用側である学校の教員、教育関係者とのワークショップでそれぞれの立場から意見交換。同グループ：西浦氏(国立ハンセン病資料館)、小田氏(行橋市図書館)、山岸氏(京都芸大教員)、山本氏(都立足立高等学校)の教員の発言は次のとおり。</p> <p><b>【提供資料】</b></p> <p>平塚市：七夕まつりに関する写真や資料          国立ハンセン病資料館：昭和30年代の療養所の地図          行橋市：江戸時代のまちの中心部の絵図</p> <p><b>【平塚市の資料に対して】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昭和20年代～30年代の七夕まつりのにぎわっている写真が1枚あれば、終戦から15年で高度経済成長を迎えた日本国民のエネルギーについて考える授業ができる。</li> <li>・ 「街道」の授業が中学校・高等学校の歴史の単元であるので、東海道と関連づけて授業ができる</li> <li>・ 大学で地域のまつりを研究する学生は多くいるが、資料がまとまっていないことが多い。しっかり整理して公開をすれば、研究対象になる。</li> <li>・ 地元の学校でカリキュラムのモデルを構築してもらい、それを公開して全国で使ってもらうのがいい。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以 上</p>

(イ) りんごの棚



はじめましたポ!

ひらつかしとじょかん  
平塚市図書館キャラクター ぶくまる



★りんごの棚ってなに?

りんごの棚はもともとスウェーデンという国で生まれた、  
「すべての子どもに読書の楽しさを知ってもらうこと」を目的にできた棚です。  
中央図書館ではこどもしつの中にできました。

★どんな本がおいてあるの?

- パソコンやタブレットを使って目と耳で楽しむ本
  - 大きい文字の本  手話で楽しむ絵本  布でできた絵本
  - 点字つきの絵本
  - LLブック(やさしいことばなどで、わかりやすく書かれた本) など
- 紙に印刷された文字を読むことが難しい人にも楽しんでもらえる本です。

